

日本共産党

第24回参議院議員通常選挙の結果

日本共産党は、平成28年7月の第24回参議院議員通常選挙で、選挙区では「複数区のすべてで議席獲得」、比例代表では「(得票数)850万票以上、(得票率)15%以上を獲得」、「8議席を絶対に確保し、9議席に挑戦」との目標を掲げ、選挙区で14人(1人区(香川)1人、複数区13人)、比例代表で42人の計56人の公認候補を擁立しました。結果は、**選挙区で1議席(東京)、比例代表で5議席を獲得**し、改選前3議席から6議席に議席を増やしました。比例代表では、得票数**601万6,194票(前回比86万2,139票増)**を獲得しました。

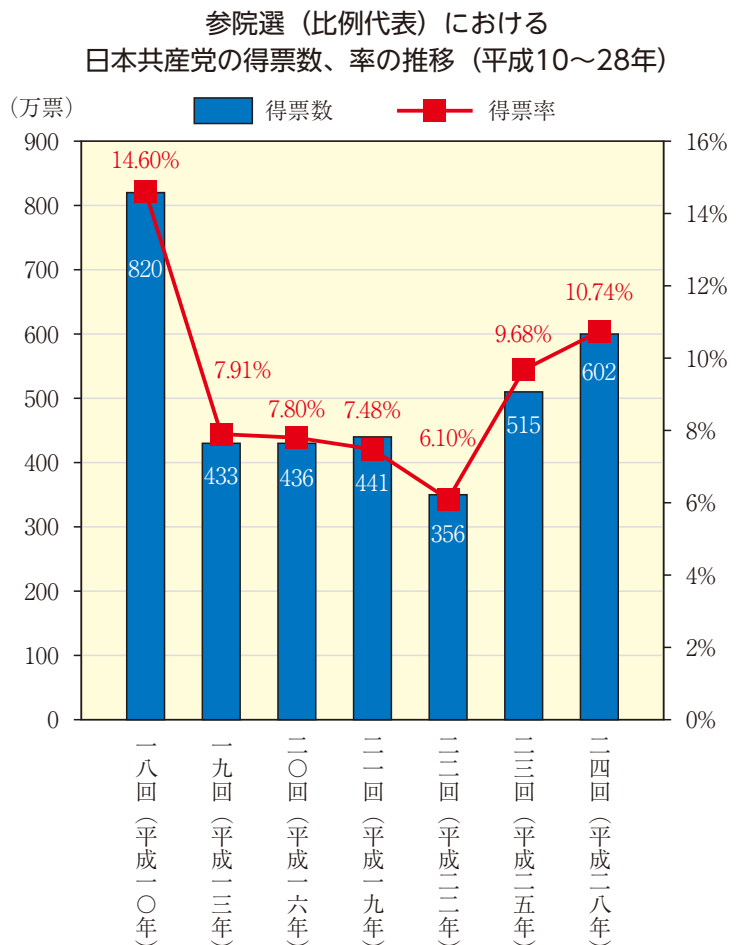
これまで全選挙区に候補者擁立を目指してきた共産党は、今回の参院選で野党統一候補の擁立を優先し、1人区のほとんどで候補者を取り下げ、**野党共闘を重視した選挙闘争**に取り組みました。選挙区における野党統一候補は32の1人区全てに擁立され、そのうち11選挙区(青森、岩手、宮城、山形、福島、新潟、山梨、長野、三重、大分及び沖縄)で議席を獲得しました。

共産党は9月の第6回中央委員会総会(以下「6中総」という。)で、参院選における野党共闘の成果を評価し、参院選後も引き続き、野党共闘の枠組みを維持した選挙闘争に取り組む方針を示しました。また、11月に開催

した第7回中央委員会総会では、第27回党大会決議案を提案し、その中で、野党と市民の共闘を発展させて現政権を打倒し、「**野党連合政権**」を樹立するとの構想を掲げました。



当選者の名前に花を付ける志位委員長(時事)



第27回党大会に向けた動向

共産党は9月の6中総で、第27回党大会を29年1月15日から18日までの4日間の日程で招集することを決定しました。また、6中総から党大会を開催する29年1月末までの間、「第27回党大会成功をめざす党勢拡大大運動」(以下「大運動」という。)に取り組むことを決定しました。

志位委員長は6中総で、参院選時の現勢について、前回参院選比で「党員数は94.8%、「しんぶん赤旗」日刊紙読者は92.6%、日曜版読者は91.5%」といずれも減少していることを示した上で、下部組織で世代交代が停滞していることや指導体制が弱体化していることなどを報告し、組織の強化の必要性を訴えました。大運動では、こうした組織実態を踏まえ、党員拡大で2万人、機関紙読者拡大では、日刊紙2万人、日曜版10万5千人の増加を達成目標に掲げました。

党員等の拡大では、特に世代的継承を重視することとし、若年層の党員拡大のほか、日本民主青年同盟（民青同）への支援を強化して、同盟員拡大に取り組むことなどを呼び掛けました。

共産党は、参院選で獲得議席を増やしたものの、党員数の減少や党活動の低下等、組織力に弱点があるとしており、今後も引き続き、党建設を重視し、党勢拡大の取組を強化していくものとみられます。



第6回中央委員会総会（共同）

日本共産党の党員、機関紙現勢の推移（平成2～26年）

